

令和5年度 甲賀市図書館の評価（評価期間：令和2年度～令和4年度）

使命「だれもが集い、であい、学ぶことのできるみんなの図書館」

サービス計画に基づく事業体系		評価の指標		実績(R2)		実績(R3)		実績(R4)		目標(R5)		自己評価		図書館協議会委員の意見		外部評価	
(1) 地域の情報拠点として、市民に役立つ身近な図書館																	
①甲賀市独自の魅力的で豊かな蔵書づくり												B	1. 貸出冊数についてコロナ禍で維持増加に工夫があった点は評価できる。この評価				B
	1. 地域の特性を活かし、ニーズに応える	貸出冊数 開架資料更新率	546,523冊 3.97%	605,271冊 4.55%	558,409冊 4.03%	611,000冊 4.50%	B	をAにするにはどうしたらよいかという視点も大事である。									
	2. 多様なメディアの収集	受入雑誌タイトル数 視聴覚資料の受入点数	264種 175点	257種 151点	257種 156点	270種 190点	B	2. 受入雑誌について今後休刊・廃刊が増えると思われるので目標設定に考慮が必要。									
	3. 地域資料の体系的な収集・整理	地域資料の受入点数	474点	399点	519点	500点	A	3. 地域資料について貴重資料として系統的に整理し閲覧できるよう工夫されたい。									
	4. 課題解決支援のための資料収集		積極的な収集	積極的な収集	積極的な収集		C	4. 課題解決支援の目標設定が不明確。誰に向けて何をするのかを明確にされたい。									
	5. リクエストサービスの充実	予約・リクエスト受付件数	61,965件	61,593件	56,032件	46,000件	A	また、収集後の積極的活用の提供も重要である。									
	6. 安定した資料費の確保	受入冊数 資料費	13,971冊 26,966千円	16,381冊 30,513千円	13,916冊 27,033千円	15,500冊 28,900千円	B										
②レファレンスサービスの充実												B	1. 目標設定について数字だけでは測れないことから評価軸を変える必要がある。				B
	1. レファレンス事例の収集・活用	レファレンス受付件数	6,388件	9,226件 パスファインダーの作成	8,696件 レファレンスのオンライン受付	12,000件	B	2. 「思い出の本探します」事業のようにレファレンスサービスの周知を望む。									
③図書館の利用が困難な人への支援												B	1. 地域ポイントについて移動図書館サービスの有無による地域差はどうか。				B
	1. 遠隔地域への積極的なサービス提供	地域ポイントの平均利用者数 地域ポイントの平均貸出冊数	22.9人 153.4冊	23.3人 187.1冊	31.8人 244.3冊	16人 100冊	A	2. サービス提供について「郵送貸出」「対面朗読」を知らない方も多い。関係団体									
	2. 活字資料の利用が困難な人のための資料と機器の整備	大活字本受入冊数	157冊	172冊	165冊		A	と連携し必要なサービスが必要な方に届くよう取り組まれたたい。									
		郵送貸出	13回/13冊	14回/22冊	20回/42冊			3. サービス環境について音訳グループによる「広報録音」も支援に貢献されている									
	3. 日本語を母国語としない人のための資料の整備と充実	外国語資料の受入点数	105点	80点	52点		B	ことから評価対象に加えてはどうか。									
	4. サービス提供のための環境整備	対面朗読の実施	3回/3人	10回/10人	8回/8人		C										
(2) 本と人、人と人がであい、新たな交流の場となる図書館																	
①学びと交流の場の提供												C	1. 講座・教室・イベント開催についてコロナ禍で制限されたことは不可抗力。				B
	1. 講座・教室の開催	行事イベント開催回数	198人	280人	302人	610人	C	2. 施設利用について貸館ガイドラインに沿って有効利用できるよう発信すると共に									
	2. 市民交流参加型イベントの開催		7回(ビブリオバトル、エコ・プロジェクト)	7回(ビブリオバトル、エコ・プロジェクト)	7回(ビブリオバトル、エコ・プロジェクト)		B	市民にとって魅力ある居場所づくりに取り組まれたたい。									
	3. 生涯学習活動の支援	施設の利用回数	105回	114回	132回	310回	C										
②利用促進のための広報活動												B	1. 広報について新しいネットワーク（フェイスブック、ライン等）の活用が必要。				B
	1. インターネットの積極的な活用	ホームページアクセス件数	2,739,003件 メールマガジン配信開始	2,826,690件 メールマガジン配信	3,299,623件 メールマガジン配信、	3,160,000件	A	2. インターネット活用についてコロナ禍に充実を図ったことは評価できる。									
	2. テレビ・文字放送など活用した広報		イベント時での活用	イベント時での活用	イベント時での活用		C	3. 広報の方法について評価項目として掲げる必要があるか再考されたい。									
	3. 図書館の使い方講座の開催	使い方講座の開催回数	2回(小学校)	3回(小学校2回、夢の学習1回)	2回(小学校)		C	4. 使い方講座について学校側のニーズも影響する。評価が必要か再考されたい。									
	4. 館外での広報活動		各種広報ポスターの館外設置、夢の学習での図書館広報	各種広報ポスターの館外設置、夢の学習での図書館広報	各種広報ポスターの館外設置、夢の学習や出前講座での図書館広報		B	また一般市民向けには丁寧な使い方説明が必要。									
③だれもが快適に滞在できる施設の整備												B	1. 施設整備について老朽化が課題であり根本的対策が必要。耐用年数を勘案して				C
	1. 居心地のいい空間の創出		自由学習スペースの設置(全館)、絵本架増設(土山)	自由学習スペースの設置(全館)紙芝居架増設(土山)	自由学習スペースの設置(全館)YA書架増設(土山)		B	計画的に予算を確保し、利用者にとって安全・快適な施設となることを強く望む。									
	2. 案内表示の改善		見出しの更新(各館)、感染対策案内(全館)書籍消毒機使い方サイン(水口)	新しい生活様式に則した図書館利用案内ほか各種サービスサインの一新(全館)見出しの更新(各館)、感染対策案内(全館)	各コーナーサインの強化、見出しの更新(各館)、自由学習スペース案内新設(水口)、書籍消毒機使い方サイン(甲南)、岡本太郎コーナー新設(信楽)		B	2. 居心地のいい空間についてハード面、ソフト面（明るくさわやかな対応）両方が									
	3. 必要な修繕の実施		空調修繕工事(水口・甲賀)玄関前修繕工事(甲賀)駐車場区画線修繕、照明LED化(水口、甲南)、高圧受電設備工事(信楽)	水口図書館修繕8回 土山図書館修繕4回 甲賀図書館情報館修繕6回 甲南図書館交流館修繕7回 信楽図書館修繕3回	水口図書館修繕8回 土山図書館修繕6回 甲賀図書館情報館修繕10回 甲南図書館交流館修繕9回 信楽図書館修繕4回		B	求められている。									

サービス計画に基づく事業体系		評価の指標	実績(R2)	実績(R3)	実績(R4)	目標(R5)	自己評価	図書館協議会委員の意見	外部評価	
(3) まちづくりを支援し、市民とともに歩む図書館										
①協働事業の提案と市民参加の促進							A	1. ボランティア活動について目標を大きく上回る回数であり評価できる。	A	
1. 協働事業の実施	ボランティア活動回数	140回	323回	531回	140回	A	A	図書館側の負担が増えてしまっでは本末転倒。適正な継続運営を望む。		
	2. 図書館ボランティアの育成		新規ボランティア1団体 34名/37回	新規ボランティア 13名/121回	新規ボランティア 16名/288回	A				
	3. 市民アンケートの実施		未実施	利用者アンケートの実施	市民アンケートの実施	A				
②庁内各機関との連携							B	1. 庁内連携について他課の研修等においても積極的に図書館を活用し意見交流の機	B	
1. 他課との連携事業の拡大	実施連携事業数	25回	26回	29回	40回	B	B	会を増やし連携強化を図ってはどうか。		
	2. 行政資料収集の協力体制づくり		広報課より録音CDの提供	市広報CDほか刊行物の提供	市広報CDほか刊行物の提供	B				
	3. 行政サービスの課題解決に役立つ資料の収集・提供		北村基金を市の課題解決に役 立つ資料収集に充当	北村基金を資料収集に充当 庁内新着情報による提供	北村基金を資料収集に充当 庁内新着情報による提供	B				
③市民のニーズに応えることのできる図書館職員へのレベルアップ							B	1. 研修参加について回数だけでなく参加者数、参加方法も掲げるとよい。	B	
1. 研修への計画的な参加	参加研修数	8回	9回	6回	12回	C	B	2. 専門研修について職員のレベルアップは当然必要。時間確保を工夫すると同時に		
	2. 職場内での専門研修の実施	職場内研修実施数	(1回) ルール電子図書館研修	(4回) 図書館内返却本確認・弁償対応研修、 デジタルアーカイブ説明会、電子図書 館オンライン説明会、ブックトーク研修	(2回) 図書館内雑誌登録者研修、図書館 職員向けレファレンス研修(忍者)	B				
	3. 図書館利用者の声を拾う環境づくり		カウンターワーク・フロアワーク	カウンターワーク・フロアワーク	カウンターワーク・フロアワーク	B				
	4. 図書館サービスが効率的・効果的に行われているかの検証	図書館評価の実施	来年度計画会議、図書館外部評 価、図書館自己点検評価	来年度計画会議 図書館自己点検評価	来年度計画会議 図書館自己点検評価	B				
(4) 子どもたちの豊かな心と生きる力をはぐくむ図書館									B	
①子どもたちの読書環境の充実							B	1. 児童書の収集についてほぼ目標数値であり評価できる。	B	
1. 児童書の計画的な収集	蔵書に対する児童書の割合	29.5%	29.7%	29.9%	30.0%	B		2. 児童サービスについてコロナ禍での取組みを評価する。回数も評価に加えること。		
	2. 児童サービスの拡大	児童向け行事の参加者数(回数)	181人/35回	269人/67回	454人/88回	1,800人				C
	3. ヤングアダルトサービスの充実		YAコーナー、成人式ブックリスト 配布、YA通信2回刊行	YAコーナー、成人式ブックリスト 配布、YA通信2回刊行	YAコーナー、成人式ブックリスト 配布、YA通信2回刊行	B				
	4. 小・中学校との連携	学校への団体貸出冊数	12,549冊	11,498冊	7,098冊	12,600冊				C
		社会見学・職場体験受入回数	社会見学 4回 職場体験 0回	社会見学 9回 職場体験 1回	社会見学 7回 職場体験 1回					
			読書通帳の作成・配布 学校図書館リニューアル事業協力:2校	読書通帳の作成・配布 学校図書館リニューアル事業協力:2校	読書通帳の作成・配布 学校図書館リニューアル事業協力:2校					
5. 学習支援パックの利用促進	学習支援パックの利用状況	15回	29回	12回	C	5. 子育て世代の支援について「大人のおはなし会」など読み聞かせ体験ができる場				
6. 子育て世代への支援	子育て関連分野の蔵書冊数	17,540冊	17,296冊	17,686冊	17,800冊		B	を設けて家庭での子育て支援に取り組まれたい。		